

ライオンズクラブ国際協会  
愛と知性でまごころ奉仕



333-C地区 地区ニュース

1993年12月20日発行 (1993~1994)

WE SERVE

ふりしあい



NO.3

特集：第2回キャビネット会議・ガバナー公式訪問

Bridal Fair '94

# 舞浜物語

さまざまなシーンの中に、あなたがいる  
いま始まる、あらたなシンデレラ・ストーリー  
ホテルのとなりは、東京ディズニーランド®パーク。



## 春の ブライダルフェア

1/16・17

(日) 10:00~18:00 (月) 12:00~19:00

- ブライダル ファッションショー  
1月16日(日) 11:30 13:30 15:30 / 17日(月) 14:30 16:30
- 当日ご成約の方には東京ディズニーランド®・パスポートチケットをプレゼント
- 新チャペル誕生。——“愛”を誓うにふさわしい……
- “祝福の時”を華やかに…'94年新プラン発表。



東京ディズニーランド® オフィシャルホテル

サンルートプラザ東京

TEL.0473-55-1111



© The Walt Disney Company

OHP9311-12

## [ふれあい]

No. 3

### 目 次

#### 第二回キャビネット会議

#### 開催議事録

地区ガバナー L. 松丸善次郎 ————— 2

#### 委員会提出議案

地区献血・献血・献腎推進委員長  
L. 皆川春安 ————— 3

#### 333-C地区ライオンズ憲章 —— 4

#### ごあいさつ

地区ガバナー L. 松丸善次郎 ————— 5

#### ガバナー公式訪問

1 R-1 Z 合同例会 Z幹事 L.伊藤正光 —— 6

1 R-2 Z 合同例会 Z幹事 L.石橋寿三

1 R-3 Z 合同例会 Z幹事 L.田口恵一 —— 7

2 R-1 Z / 2 Z 合同例会 Z C L.富原 啓

3 R-1 Z / 2 Z 合同例会 3 R P R情報委員  
L.清水義雄 —— 8

4 R-1 Z / 2 Z / 3 Z 合同例会  
4 R P R情報委員 L.吉田憲一 —— 9

5 R-1 Z · 2 Z 合同例会  
5 R P R情報委員 L.松田芳己

6 R-1 Z / 2 Z 合同例会  
6 R RC L.鈴木俊一

7 R-1 Z / 2 Z 合同例会  
7 R P R情報委員 L.平賀 昇 —— 10

8 R-1 Z / 2 Z 合同例会  
8 R P R情報委員 L.林 智樹

#### 地区100番目の認証状伝達式

浦安中央LC CN委員長 L.平野芳子 —— 11

#### 柏の花 LC 認証状伝達式

柏オーラ LC 会長 L.鈴木和夫 ————— 12

#### チャーターナイトを終えて

柏の花 LC 会長 L.植村力子 ————— 13

#### 千葉 LC 認証30周年記念例会

30周年実行委員長 L.上野正剛 ————— 14

記念 A C T 網膜色素変性症の患者に支援を

L.椎名益男 ————— 15

#### 東庄 LC CN 25周年記念式典

幹事 L.藤崎久男 ————— 17

#### 1 R 新入会員研修会開催

1 R P R情報委員 L.箕輪信治 ————— 18

#### 変革の時代とライオンズ

浦安シーサイド LC 会長 L.鈴木定雄 ————— 19

#### LC活動リポート —— 20

干潟 LC · 旭 LC · 5 R-1 Z · 長南 LC · 東金 LC

8 R-2 Z · 四街道 LC · 下総 LC · 酒々井 LC

佐倉 LC · 成田平成 LC

#### YEプログラム・レポート —— 28

徳永陽子、濃野有希子、丹沢弘樹、竹内麗亞、

新見由理、渡辺晃子、山田洋輔、松見美奈

#### ライオンズクラブの将来像はどうなるのか

地区幹事 L.川崎忠男 ————— 34

#### ローマ字/かな対応表 —— 35

#### 333-C地区会員分布 —— 36

題字・日展会員、鈴木アイ子 表紙写真・中山法華経寺五重塔

# 第二回キャビネット会議開催議事録

1993年11月13日千葉県労働者福祉センターにおいて開催されたライオンズクラブ国際協会333-C地区1993~1994年度第二回キャビネット会議の議事の結果をご報告致します。

なお、当日の出席者及び挨拶、あるいは各委員長等の報告、又は意見等は概略キャビネット会議資料に掲載されているとおりであります。同資料をご参照下さい。

1993年11月15日

ライオンズクラブ国際協会  
333-C地区

地区ガバナー L 松丸善次郎

## ガバナー提出議案

### 第1号議案 次年度ガバナー候補者推薦の件

333-C地区的次年度ガバナー候補者として、地区全8リジョン委員会より推薦書の提出がありました現副地区ガバナーL江畠耕作(旭LC所属)を推薦致しました提案します。

[決議] 提案のとおり承認可決。

### 第2号議案 次年度副地区ガバナー候補者推薦の件

333-C地区的次年度副地区ガバナーとして、地区全8リジョン委員会より推薦書の提出がありましたL林静誠(船橋中央LC所属)を推薦致しました提案します。

[決議] 提案のとおり承認可決。

### 第3号議案 1R分割について

1R内現在の24クラブを3つのリジョンに分割する。

[決議] 提案のとおり承認可決。

### 第4号議案 地区内リジョン編成順位検討委員会設置の件

[決議] 提案の趣旨諒承、地区内リジョン編成順位検討委員会を設置する。委員の任命はガバナーに一任する。

### 第5号議案 年次大会議事規則等承認の件

[決議] 提案のとおり承認可決。





## 委員会提出議案

地区献血・献眼・献腎・推進委員長  
上皆川春安

視力ファースト・献血・献眼・献腎推進委員会提出議案  
第1号議案 アイバンク・アクティビティの件

財団法人千葉県アイバンク協会に本年度も単位クラブの自主的な判断により献血登録及び助成金をアクティビティするように勧奨して頂きたい。

第2号議案 献腎登録呼掛けについて

千葉県ヘルス財団の献腎推進運動への協力として、

地区内メンバーに対し、献腎登録を勧奨して頂きたい。

第3号議案 献血推進と献血推進研究会開催について  
今年度も昨年度に引き続き地区献血推進研究会を明年2月開催して頂きたい。

〔決議〕第1号議案、第2号議案、第3号議案提案通り承認可決。



# 333-C 地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、  
その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、  
ライオニズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、  
ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげもう。

## ライオンズクラブの目的

- 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい發展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公徳心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとか個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

## ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 眞の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すんで時間と労力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

# ごあいさつ



地区ガバナー  
上松丸善次郎

第一回キャビネット会議(7月24日)が、フローラ西船にて無事終了を見た翌日、浦安中央ライオンズクラブの結成式と幸先よく最初の公式行事となり順風万帆の滑り出でございました。

9月4日から3リジョン1ゾーンを皮切に公式訪問を始め、10月28日1リジョン1ゾーンを以て無事に終らすことが出来ました。

地区名譽顧問の方々、リジョンチャアマン、ゾーンチャアマン、キャビネット構成員の皆様また各クラブ役員の方々、会員の皆様から心温まる歓迎を頂き「ふれあい」の中で皆様と共に語り、共に楽しみ、共に笑って共に喜びを分ちあい、友情に溢れた宴に時を忘れ、過して参りました。心から厚く御礼申し上げます。

皆様からのご提案、ご意見等を数多く頂きましたので充分に検討させて頂き、出来るものから地区発展のため活用して参りたいと考えております。

9月20日にはローイットメーター(前国際会長)LCIF委員長が印度から来日され東京プリンスホテルで、視力ファーストキャンペーンについてセミナーが催され、当地区からも、矢田LCIF委員長を始め楠岡コーディネーター、川崎地区幹事、笛本地区会計、グループコーディネーター等多くの方々が出席され熱心に聞いておられました。333複合地区ガバナー協議会にも数回出席いたしました。

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体として178ヶ国に及ぶ国々に於て組織され活発に活動を開始して、時代の変化と共に新しい方向に向い発展を続けていっていることを痛感しております。

公式訪問の期間中(9月4日～10月28日)クラブの運営、会員増強、退会防止について、また視力ファーストキャンペーン、年次大会、複合地区年次大会の参加、等についてお話し申し上げ皆様のご理解とご協力がいただけたものと確信しております。

新クラブの誕生は3クラブが結成されました。浦安中央ライオンズクラブ、夷隅ライオンズクラブ、茂原たばなライオンズクラブ、の3クラブです。近くライオネスクラブが結成されようとしております。なお女性だけのライオンズクラブを結成しようと努力中です。

クラブ誕生は最大のアクティビティであるし地区としても大変喜ばしくおめでたいことです。

公式訪問で特に印象が強く残つておるものをお報告させて頂きます。

1リジョンでは24クラブあるので3リジョンに分割したいと検討委員会で結論を出し3つのリジョンに決定したこと。麻薬・覚せい剤撲滅運動千葉大会(10月27日)。

2リジョン 船橋クラブの会員増強は地区内1位ではないか?と思う。次期副地区ガバナー推せんに努力されていた。鎌ヶ谷クラブで10,000ドルのMJFが出たこと。

3リジョン 千葉クラブが網膜色素変性症について千葉大学医学部眼科の安達恵美子教授の提唱による、変性症の会が発足するため300万円ドネーションした、このことについては、LCIFに申請中であります。

4リジョン 新クラブの結成に努力中。

5リジョン ガバナー公式訪問は、ゾーン単位にしてはどうですか。日時が取りきれないで難しい。

6リジョン 特別に取りあげることなし。

7リジョン 周年行事の費用の目安についてでしたが、メンバー数や地域・交通・会場等、問題があるので一律には行えない。源氏ホタルの飼育20万匹のこと大変な努力だと思います。

8リジョン 新人教育のありかたと、講師について。

## 1 R-1 Z 合同例会



Z幹事 L伊藤正克

秋晴れの10月28日(木)、東京ベイホテル東急において、L松丸善次郎地区ガバナーをお迎えして、ライオンズクラブ国際協会333-C地区1R、1Zガバナー公式訪問合同例会を、行徳LCがホストクラブとなり開催した。

次期年度より、R分割が答申されている現在、市川地区5クラブ、浦安地区3クラブ、合計8クラブとしては、最後の合同例会となりました。

例会に先立って行われた三役打合せ会議においては各クラブ会長より活発な質問が出され、今期L川上恵洋ZC司会のもと進められた。ゾーン分割について、今まで各クラブとの数多くの話し合いの結果、一応の同意を得ているが、今後はキャビネットにおいての決定事項の内、各クラブと密接な問題については、話し合いの場を事前に作ってほしい、各クラブの意見も聞いてほしい等が出された。約1時間30分の打合せ会議であったが、熱心な質疑に対して、ガバナー始め地区三役のライオンより率直な解答をいただき、真剣さの中にも和気藹々の意見交換が行われた。

続いて例会に入り、開会宣言及び開会ゴングの行徳LC会長L京都忠之に始り、歓迎の言葉を浦安LC会長L亀井松夫、物故Lへの黙禱ナレーションを、市川東LC会長L林一公、CAB役員の紹介を浦安シーサイドLC会長L鈴木定雄、乾杯の音頭を浦安中央LC会長L松崎秀樹、講師紹介を市川LC会長L宇野沢璋、ローラーを市川東LC会長L三世川勝次、閉会宣言及びゴングを下総中山LC会長L松丸征勝、に至るまで、8クラブ会長、全員参加の構成により、250名の出席者にて盛大にスタートし、L松丸善次郎ガバナーのスローガンである「愛と知性で、まごころ奉仕」の言葉を基本精神に、各種のセレモニーが開始された。国家斉唱、ライオンズヒム等の演奏を、市川市消防音楽隊の皆様にご協力いただき、厳粛の中にも華やかさを秘め、L川上恵洋ZC、L保科

保RC、お二人の挨拶においては、ガバナー歓迎の言葉、今後のLCの飛躍を、との言葉をいただいた。

主賓であるL松丸善次郎がガバナーよりは、世界のLCの現況、日本のLCの役割等有意義な内容の心こもったご挨拶をいただいた。

会食に入り、8クラブのTTによるお楽しみコーナーなど、なごやかなひと時をすごした後、本日の講師である国際政治評論家の田久保忠衛氏より「国際情勢や日本の立場は二十一世紀に向ってどうあるべきか」また、「我国の細川連立内閣の方向」など1時間の講演を延長して講話を拝聴した。

最後に、盛大なる全員の拍手によりガバナーをお送りして閉会となった。皆様の御協力大変ありがとうございました。

## 1 R-2 Z 合同例会

Z幹事 石橋寿三

1993年10月18日(月) 於 柏日本閣

合同例会の開会前約1時間を、キャビネット三役、ゾーン内の各クラブ三役とのミーティングを持つ。その中では種々のクラブの現況、今後のライオンズの運営方針等の話合い、15分の休憩後、PM 6:00より合同例会に入る。ゾーン内メンバー数は444名、9クラブ(流山LSC含む) 9月末現在である。当日の出席率は71%であった。

合同例会は松丸善次郎ガバナー始めキャビネット構成員出席者20名の参加を頂き開催す。松戸LC室橋会長の開会の言葉により開始す。松戸中央LC石橋会長の開会ゴング、引き続き参加全員で声高らかに国歌、ライオンズヒムの齊唱、ライオンズの志を半ばにして他界された物故ライオンに対して黙禱、黙禱の中にも、友を失った悲しみと今後更に改めて、社会奉仕に精神する心を養って冥福を祈り静かに眼を開ける。流山LC大塚会長のライオンと呼ばれる人もはっきりした大きな声に、身が引きしめる思いを新たにする。松戸東LC水野会長による地区役員出席者と各クラブ会長の紹介、L川上昭治郎ZCの2Zの現況報告、各クラブ現況報告は時間の都合上、松戸中央LCの石橋会長が前もって受付で、各クラブ現況報告書の一括記入したものを渡しておきそれによって代表で報告の形式を取った。RC挨拶では、L保科RCの言葉の中、次年度からは、「ゾーンが分割されても今までに変わらない気持をもって、お互に手を取り合って奉仕活動にはげんで頂きたい」との言葉を印象深く感じた。地区ガバナーからは、日頃のライオンズ活動のご苦労に対しての感謝の言葉、各クラブへの記念品の贈呈、続いて各クラブからもガバナーへ記念品と、花束をキャビネット三役に贈呈、贈呈には流山LSC三役にお手伝いして頂いた。

キャビネット幹事の報告の後は懇談（会食）となる。乾盃は野田LCの仲会長、会食中T.T. タイム、最初に松戸東LCの平野Lの玄人顔負けの踊り（まぶたの母）流山LS野能さんの河内男節もなかなかのもの。最後はT.T.全員によりおかめ、ひょっこ踊り、練習量も若干少なく踊りも揃ってはいないが、それはそれで一層笑いを大きくかきたてた様になった。松戸ユーカリLC大熊会長によりライオンズロー、関宿LC会長直井Lの閉会の言葉に続き、また会う日までを全員が輪になって声も高らかに齊唱、最後は松戸中央LC石橋会長が閉会ゴングを打ち合同例会は無事終了する事が出来た。合同例会所要時間は1時間40分であります。

## 1 R-3 Z 合同例会 ライオニズムの高揚一段と

Z幹事 L 田口恵一

秋天紅葉の10月20日、1R3Zのガバナー公式訪問合同例会が柏のプラザハイアンドで開催された。来期はリジョンの分割に伴いゾーンが再編成されるため、長年、馴れ親しんできた9クラブ467名のメンバーにとって最後の合同例会となった。



合同例会に向けては入念な準備会議がもたれたが、とくに各クラブのテールツイスターは、合わせて5回もの打ち合せ会議やりハーサルを重ね、合同例会の華ともいうべきテールツイスター・タイムに備えた。

今回は、柏さくらLCと柏なの花LCの新進クラブが新たに加わったため、広い会場はぎっしり満員。ハプニングでガバナーの到着に遅れが出たものの、例会は肃々と進められた。

会食後のテールツイスター・タイムは、柏踊りに時代劇の寸劇と、多彩なプログラムが披露されてヤンヤの喝采。

3ゾーン内のクラブ融和は無論のこと、地域社会に対するライオニズムが改めて高揚された合同例会の一日であったと確信する。

## 2 R-1 Z / 2 Z 合同例会 ガバナー公式訪問について

2 R-2 Z Z C L 富原 啓



平成5年10月10日(日)午後5時、船橋市、パールプラザに於てガバナーを公式にお迎えする。前Z Cより書類上の引き継ぎは終り公式の行事の概要は頭の中に入ってるのだが、実際にどの様にお迎えするのか、一抹の不安は、かくす事が出来ない。歴代のZ Cも恐らく初めての事なので同じ気持で迎えたのかなと考えると多少気が楽になった。午後に1Z、夕方に2Zと同日の開催なので、2時間程空白の時間が出来た。キャビネットの方達にはご迷惑であったであろう。然しパールプラザにあるサウナに入っていたとき時間つぶしをしていただいたので何とか恰好がついた様であった。午後5時開催の各クラブ会長会議には、皆初めての顔合わせながら実に堂々と意見を述べ落付いている様に見受けられた。

次に当ゾーンの3ヶ月間（7月、8月、9月）の実績を発表すると、

(1) クラブ数	8 クラブ
(1) クラブ員数	327名
(1) 労力ACT	4.387時間
(1) 金銭ACT	10,926,293円
(1) 献血ACT	277,000cc

クラブ員一名当たりの平均は、

(1) 労力ACT	13.4時間
(1) 金銭ACT	33,413円
(1) 献血ACT	847cc

但し、この献血ACTには、船橋京葉LCの大量ACTが有名であるが、実に全献血量の37%を示める快挙がかくれている。毎年の事ながら船橋京葉LCの皆様には本当に頭の下がる思いである。

本年度が最後の年となったCSF基金の募金額は未だ実績が出ていないが12月末迄にはその集計額が発表出

# ガバナー公式訪問

来ると期待している。私の手元に届いた情報によれば割当以上の実績があがる予定である。

公式訪問の行事は、無事つがなく終了して、ZCとして初めての大役をなんとかこなして安心はしたもの、この蔭には、Z幹事、事務局員はじめ、実際に多くの人達が献身的にささえて下され、又ガバナーはじめキャビネットの人達の寛容の精神が身にしみて有難く感じられた。皆様に深く感謝する次第である。

最後にZCとして数ヶ月経過したが私的な感想を述べると、各クラブの会長は別として、幹事の方達が不安をいっぱいいかかえて精一杯努力をしている様がありありと見える。私も初代幹事として相当苦労した経験があるのでこの苦しみが、とてもよく見える。この苦しみを少しでも和らげるには、ZCが7月に就任したら即刻各クラブの幹事を集めて自分の経験を生かした指導を口から口へと伝え文書を使った固苦しい説明でなく柔らかい調子で幹事と接触して、少くともガバナー公式訪問迄には幹事が自信満々笑顔で出席出来る様にしたい。実際にはZCも7月には不安で一杯で自分の役の勉強で精一ぱいであろうが、この幹事役の指導だけは、ZCの責任上どうしても実行しなければならないと思っている。

以上がガバナー公式訪問について少し余分な事を述べた様であるが浅学非才の身にはこの程度の事でお許しいただきます。

## 3R-1Z / 2Z 合同例会 3Rから

3R PR情報委員 L 清水義雄

ガバナーが就任されると、間もなく始まる恒例のガバナー公式訪問が、本年度も前ガバナーの在籍するゾーンより始まりました。

9月4日(土)千葉グランドホテルに於いて、3R-1Zが、翌5日(日)市原市民会館に於いて、3R-2Zが、それぞれ合同例会を開催したものです。各LCより各クラブの現況報告、ゾーンチェアマンよりゾーン内の報告等がなされ、合同例会前に行われる三役懇談会を含めると約6時間以上も、熱心な会合がなされ、ガバナーにおめにかかることにより、各メンバーは、そのお言葉のはしはしに、ガバナーのお気持、そしてLCへの情熱を肌で感じることが出来、ガバナーにおかれましても、メンバーの情熱を感じていただけたことと思います。ルール上、新ガバナーにはこの行事が義務として課されており、LCが成立して以来、今日まで休むことなく継続されている行事ですが、長びく不況の中にあって、この先、LCが歩んで行く道を考える時、メンバー同志がお互いによく話し合い、気持を確かめあい、新たな活



力を得、前進して行くのには正にこの公式訪問ほど、すばらしい機会はないと思います。

昨年、前ガバナーL矢田常吉のお供をさせて頂き、県下を廻させていただいた時のことをオーバーラップし、いろいろ考えてみましたが、各ゾーンにて特色ある合同例会がもたれ、これで良いのかなと思うこともあれば、又、本当にこんなに素晴らしいLCがあるんだなと感じたこともあります。

C SFも最終年度を実行の年として、各LCに多数のMJFの要請がなされ、今だ目標に到達するに至らないLCもありますが、あと半年のうちには、必ず目標を達成していただけることだと思います。個人の力ではなしえないことを「ウイー・サーブ」の旗のもとにLCに加入し、集団の力で各LCが奉仕作業を行なって来ております。そして更により大きな協力関係のもとにLCが力を出し合う合同ACTの問題等々、LCの果すべき役割はまだ多数且つ無数に存在しております。県下各地で開催された街頭募金活動も各地で成功をおさめ、当リジョンも成功し、且つ改めて各LCの協力が大きな力となることを、メンバー各位が認識できたことと思います。

本年度千葉LC、千葉ポートLCの周年行事を皮切りに、この数年は周年行事が各地で開催されますが、今こそ周年行事を考え直す良い機会と存じます。大地に足を付け、根をしっかりと張ったLCこそ、これから奉仕作業の主役となり得ます。どうぞ、各LCに於かれましては、これからもすばらしいACTをなされることを希望し、当リジョンの報告を終了させて頂きます。

## 4 R-1 Z / 2 Z / 3 Z 合同例会 ガバナー公式訪問随行記

4 R P R 情報委員 L 吉岡憲一



今年度の第4リジョンのガバナー公式訪問は、9月18日、第1Zで銚子中央LCのホストにより銚子市において、翌19日は第2Zの多古LCがホストで多古町、午後からは第3Z、飯岡LCをホスト役に旭市において開催されました。

公式訪問に先立ち行われた、クラブ3役とガバナー、キャビネット役員との打ち合わせ会では熱心な討議がなされ特にCSFについては各クラブとも積極的な取組姿勢が感じられた。又キャビネット構成員との意見交換の機会が少ないために、あれもこれも、質問が広範囲になり時間の制約を受けてしまったことは残念でした。

公式訪問での松丸ガバナーの挨拶では、CSF視力ファーストの最終年であるのでMJFに協力を、そして会員増強を強調しておられました。

各クラブ会長からは今年度の会長方針及びクラブの年間ACT計画等が発表され公式訪問は定刻に終了し、その後、懇親会の『ガバナーを囲む会』では地区名誉顧問L橋口、地区名誉顧問L長島、のお二人をも交えて、終始和やかな雰囲気のなかで友情の絆を深め会いました。松丸ガバナーそしてキャビネット役員の各ライオン、二日間にわたり大変ご苦労さまでした。

## 5 R-1 Z・2 Z 合同例会

5 R P R 情報委員 L 松田芳己

さる9月12日(日)、君津市民文化ホールにて5R1Z、2Z、松丸地区ガバナーをお迎えして、盛大に地区ガバナー公式訪問合同例会が開催されました。

第2部では、場所を松柏園ホテル (JR君津駅前) に全員が移動して、地区ガバナーを囲む懇親会で、松丸地区ガバナーを囲んで、5R各クラブのメンバー達との会話も弾み、本当に楽しいひとときを過ごしました。



## 6 R-1 Z / 2 Z 合同例会 御礼と小さな感想

6 R R C L 鈴木俊一

御多忙の中、10月2日より3日に亘り、L松丸ガバナーそしてL川崎キャビネット幹事さんには、態々遠方まで(館山及び鴨川)御足労をいただき6 R・1 Z、2 Z のガバナー公式訪問合同例会が開催されました。盛大にして和やかな内に無事終了いたしました。厚く御礼申し上げます。



会場は、盛り上りの内に進行し、各クラブの「ふれあい」の場となって有意義でした。少人数のクラブでも、大きなクラブの役員でも、誰しも就任以来クラブ運営には細心の配慮と努力をなされている実績は高く評価されるものと思考いたします。

大きな力を發揮する大人数クラブ、小回りの利く少人数クラブ、それぞれが例会訪問のたびに感じることですが、「良い特徴」として、特色ある例会運営には、心より敬意を表するものであります。

双方のクラブ実績は表に現われる数字を同一線上による視点での価値観の判断には、無理が生ずることと思います。「ふれあい」によるメンバー同志としての意識の昂揚に務めることこそクラブの活性化に繋がるものと確信いたします。

一期一会に因み、茶事七式を大事にする四畳半小間式茶室に、洋式ベッドを持ち込んでの生活には無理がある

# ガバナー公式訪問

わけです。メンバーの皆さんの英知の結集とwe serveの理念こそクラブの発展に寄与し、クラブの歴史に残る一駒でありたいものと願うものであります。

## 7 R-1 Z / 2 Z 合同例会

7 R PR情報委員 平賀 昇



去る9月25日第7リジョン第1ゾーンのガバナー公式訪問合同例会開催つづいて26日第2ゾーンの公式訪問合同例会が盛大且なごやかな内に開催終了する事がでて誠に有意義であったと感じています。松丸ガバナーのモットウとする「愛と知性でまごころ奉仕」の精神をいつも胸に秘めて、社会奉仕しているライオンズマンの集りは、お互いにいつも笑顔があり、語らなくても相通するものがありこんななごやかさのある団体が他にあるだろうかと思われる。今更乍らLCの一員として席をかけて良かったなと感じている昨今です。ガバナーの御要望である単位クラブの充実こそが第一の根幹であり、地区のレベルアップにつながると思いますので、同志を一人でも多く会員を増強する事がクラブの充実になってくると思われます。会員増強については第7リジョンでは今期発足時に54名の目標があり遂次増強されています。幸いな事に茂原長生LCのスポンサーにより第7Rに新

しいLC「茂原たしばな」LCが誕生11月23日に結成式の運びとなっています。誠に喜ばしい事であり、我々の同志として早く立派なクラブに育って行く事を願いブランザークラブの御協力をお願い致します。次にガバナーの御要望である視力ファーストへの協力は四千万人の視力回復を手助けすることのできる世界的な奉仕は、我々ライオンズマンの秘めた誇りをもてる奉仕であり、次の国際大会でCSFの大成功を称え合う事のできるように各クラブが努力しており、徐々に拠出者が増加しています。クラブの運営と合理化では各クラブの運営に関与する役員も次第に若い層に移りつつあり、徐々に合理化されつつある事は間違ひなく感じとれます。

根幹とする奉仕の精神が揺るぎなしとすれば結構な事だと思います。

終りにガバナーの御健康と益々の御活躍を祈念申し上げ示されました運営方針十項目を銘記し地区発展に寄与する事を誓います。

## 8 R-1 Z / 2 Z 合同例会

8 R PR情報委員 L林 智樹

今期は3Rが分割されて1Z、4Zが新しく8R、1Z、2Zとして形成され、9月11日(土)成田ビューホテルにて、10クラブ約280名が出席してガバナー公式訪問が行われました。クラブ運営の充実と活性化・会員増強・一市に複数クラブがある場合の合同ACT(奉仕)、最終年度に当る視力ファースト基金についてはクラブ員の献金はもとより、クラブが各事業によって視力ファースト基金を拠出する意見も出ましたが、すでに準備段階に入っているクラブもありました。ガバナーと三役会合の前に8Rより次期副ガバナー立候補の件につき推薦委員会も開催され、成田LCよりの立候補者に対して、推薦する旨賛同を得て、次年度立候補届出をする決議がなされました。



# 地区100番目の認証状伝達式

## 浦安中央ライオンズクラブ

浦安中央LCCN委員長

L平野芳子

浦安中央LCの認証状伝達式が、多数のご来賓ならびに地区ガバナー松丸善次郎Lをはじめ各地区より多くのライオン諸先輩の皆様に、ご多用の中ご遠方よりおいでいただき、盛大に挙行できましたこと心からお礼申しあげます。

私達は県下100番目、浦安市内3番目のクラブとして、国際協会より栄誉ある認証状の伝達を受けました。43名のチャーターメンバーは、スローガンとして掲げた「汗を流し、知恵を絞ってWe Serve」達成のために心を一つにして第一歩を踏み出しました。その第一歩目のチャーターナイトを、私達浦安中央LCのエネルギーの源としてライオンマンの誇りと自覚をもち、前進してまいりたいと思います。

去る7月25日の結成式以来、チャーターナイトのご案内のために、各プラザークラブにお伺いしました折に、心のこもったあたたかなおもてなしをいただきましたこ

とは、私達の大きな励みとなりました。そして多くの出会いもありました。初対面のメンバーと、新しいライオンズクラブへの期待などを語り合う機会もありました。私達が生活をしている、この浦安には、海があり、ディズニーランドがあり、高層住宅群があります。そして今でも人情の厚い風情たっぷりの“青べかの街”でもあります。

この多くの出会いを大切にして、諸先輩のご指導ご協力をいただきながら、全員参加で大きく成長していくたいと願っております。

終わりに、浦安中央LCのチャーターナイトが、43名のチャーターメンバー全員のご協力と、ガイディングライオンの西野茂L、醍醐善三郎Lのご指導をいただき挙行できましたことに、CN委員長として心から厚く御礼を申しあげます。



# 柏の花ライオンズクラブ認証状伝達式

柏オークLC 会長

L 鈴木和夫

平成5年11月20日この日は私達柏オークLCのメンバーにとって忘れる事のできない素晴らしい思い出の日となりました。あいにくの天候にもかかわらず、遠方より駆け付けて下さった多くのご来賓、ブラザークラブのメンバーにこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。至らない点も多々あった事とは存じますが、皆様方の多大なご協力によりまして盛会にて終了することができました。どうもありがとうございました。

私達柏オークLCは1984年4月21日柏グリーンLCのスポンサーにより誕生いたしました。以来10年間親クラブの温かいご指導のもと『友愛と寛容の精神を養い社会奉仕に精進する』を合言葉にただひたすら頑張って参りました。

ただ一つ残念な事は我がクラブのガイディングであります秋元ライオンが、志し半ばでこの世を去られた事でございます。

何もわからない私達に一つ一つ丁寧にご説明下さったあの御姿が今でも思い起こされ、只々残念でなりません。今の柏オークLCがあるのも秋元ライオンの志を受け継いでいかなければという気持ちがメンバーに強く残っているからこそあります。

そして今、私達は親クラブとなることができました。日本で14番目の女性だけの「柏の花ライオンズクラブ」をエクステンションいたしました。4月20日結成、11月20日にあわせて認証状伝達式を挙行することができました。これもひとえにブラザークラブの皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

私達柏オークLCは10周年を一つの区切りとしまして、日々一層たゆまぬ努力を続けていく所存でございます。どうぞこれからも宜しくご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。



# チャーターナイトを終えて

## 柏の花ライオンズクラブ

会長  
L植村力子

女性だけのクラブが県下初という話題で、結成式も華々しくスタートを切りましたが、暗中模索の毎日で、こんなにも大変なものかと内心驚きの方が多かった様に思います。

そして、チャーターナイトに向けての委員会のメンバーそれぞれが活動を開始し、交流が深くなるにつれて、ひとり一人の素晴らしい、スポンサークラブが良くここまで人材を揃えて下さったと、ひたすら感謝するばかりでした。

今回、柏オークLCのチャーターナイト10周年記念と柏の花LCチャーターナイトの合同祝賀会も、スポンサークラブである柏オークLCの方々のいろいろな角度からのアドバイスと御協力を得ながら、本当の親子関係を築き上げた様に思います。

私達、柏の花LCも、チャーターナイトからひとり立ちしていくわけですが、親クラブの鈴木会長を中心として、メンバーひとり一人とこんなに思いやりのある父親

と娘という立場で今後も交流させて頂くことが、どんなに私達にやすらぎと、励みを与えてくれるかしれません。そして、いつか入会の時のそれぞれの思いが、ひとつひとつ果たされて行ける様に、未来に向けて着実に歩んで行く様にレールを引いていくことが私達チャーランバーにとっての役目とこころしていくことでしょう。

まだまだ、無色の状態ですが、これからは良い意味での個性を出し合って、素敵なかラーとなる様に、ブザークラブの方々との仲間意識を持って、広い知識人となる様メンバー一同精進してまいりたいと思います。

今後とも、芽ばえたばかりの柏の花LCが、又春には沢山の花を咲かせ、秋には実りを出す様に、よろしく御指導下さい様お願い申し上げます。

そして、柏の花LCチャーターナイトに大勢のLCの方々にお世話になりましたことを心から御礼申し上げます。



# 千葉LC認証30周年記念例会

1993年10月16日 於 幕張プリンスホテル

30周年実行委員長

L上野正剛



会長

L岡野正義

千葉LC30周年記念行事の実施に際し、会長岡野正義Lは「形式にとらわれないフレッシュな集いを」と実行委員会に要請した。

この要請を受けた椎名益男Lを委員長とする実行委員会は、ミーティングを重ね、「ディナーショー形式」の集いを企画・早速準備に入る。椎名委員長の芸能界における豊富なコネクションを活用し、美声、美貌、抜群のプロポーションと三拍子揃った新進アーティスト鳴崎裕美さんの起用を決定、更に綜合司会を音楽評論家、各ディスクジョッキーとして名を馳せたいソノルヲ氏に依頼、骨子が定まった。肝心のディナーについては、会場となる幕張プリンスホテルのシェフの力作を委員会全員で試食、予算内での究極の味覚を追求。更に当クラブのメンバーである名ピアニスト大原保人Lにカルテットの編成を依頼、脚本より練り上げて、後は当日を待つばかり。

いよいよ10月16日、この日の天候は雨。出足が危惧されたが。4時近くになって雨も上がり、予定時刻には全員着席。

定刻4時、会場溶暗。ステージのホリゾントに「千葉ライオンズクラブ30周年記念の夕べ」なるタイトルがスライドによりくっきりと表示され、期待と緊張感が高揚する中にピン・スポットを浴びて鳴崎裕美さんが颯爽と登場、ミュージカルの名曲「ショーホド素敵な商売はない」を熱唱。ここで初めて司会者が登場するという意表をついたオープニングはどうやら成功したようである。

司会者の巧みな導入で岡野会長による開会ゴング、国歌斉唱、ライオンズヒム合唱。そして録音テープによるオルガンと男性コーラスをバックに物故Lへの黙禱。

33名1団体が簡潔に紹介され、岡野会長のこれまた簡潔明瞭な挨拶。お決まりの松の盆栽が乗った演壇ではなく、ただマイクが一本立っているだけのステージでは簡素が映える。333-C地区ガバナー松丸善次郎Lは千葉LCのアクティビティを賞賛、特に網膜色素変性症協会への協力を約束するメッセージを、更に多用の中を駆けつけた沼田知事からの祝辞。

ここで鳴崎さんが再登場、いソノ氏の軽妙な語りにの

せて、ムーン・リバー、踊り明かそう、ウィーン・我が夢の街と3曲続けて熱唱、第一部は無事終了。

第二部は30周年記念事業について特に網膜色素変性症患者を援助する組織設立の重要性を椎名Lがスライドを駆使して説明、出席者の共感を得る。そして千葉大学眼科安達教授に基金贈呈。安達教授からの謝辞、患者代表小野塚有可さんからの電報披露と続く。

更に千葉LCの支援により来日したタイ・チェラロンコン大学の学生2名による民族舞踊、謝辞、人形贈呈があり、千葉大学薬学部坂井教授より謝辞を戴く。そして活気に満ちたTTタイムで第二部も国際色豊かに終了。

第三部は各種アワードに続いていよいよ待望のディナータイムが中村勝和Lの乾杯で始まる。立ちこめる松茸入りコンソメスープの香りは料理への期待をそぞろに充分。ステージは大原L率いるカルテットによる鈴懸けの径など懐かしいヒット曲の名演奏。次いで鳴崎裕美さんがイエスタディ、見上げてごらん夜の星を、メモリー、そしてメリーウィドウワルツと情感を込めて歌い上げる。会場に溢れる喝采に応えてアンコールはウェストサイド・ストーリーよりトゥナイト。余韻を楽しむコーヒー・タイムも終わり、全員で「また逢う日まで」合唱。塩沢Lの閉会の辞で、実行委員にとって「最も長い日」が終わる。参加者のお見送りを済ませ、千葉LC全員で記念撮影、万歳三唱。岡野会長の満ち足りた笑顔に「景気にとらわれずリフレッシュ」の期待が達成されたことを読みとったのである。



タイ・チェラロンコン大学からの交流生に人形の贈呈

# 記念アクティビティ

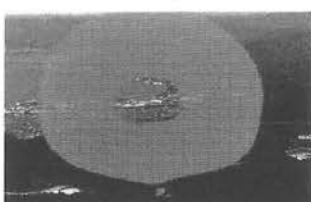
1. 日本網膜色素変性症の会設立基金贈呈	300万円	学生交流支援	50万円
2. 市内精薄養育施設関係者260名を名画とハイビジョン鑑賞会に招待	30万円	5. 蘇生訓練用生体シミュレーターを日赤千葉県支部に寄贈資金據出 (千葉市内8クラブ合同アクトの予定)	70万円
3. 老人介護支援のため床ずれ防止用電動エアマット14台を千葉市に寄贈	130万円		
4. タイのチェラロンコン大学と千葉大学薬学部との			計 580万円

失明の不安におびえる網膜色素変性症の患者に支援を!  
千葉ＬＣが掲げた小さな灯火…

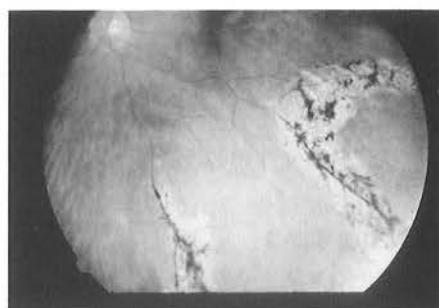
千葉ＬＣ  
椎名益男



↓ 網膜色素変性症・視野はこのような経過で侵されていく。



正常な網膜



網膜色素変性症の網膜  
多角形、骨片状の色素  
が血管に沈着

網膜色素変性症ってなに？

Q. 網膜色素変性症とは何ですか？

A. 網膜に異常な色素沈着が起こる一連の病気のことです。患者さんは網膜が壊れてゆくに従って、最初は周辺が見えにくくなったり、暗いところが見えにくくなったりします。長い年数をかけて進行することもあり、中心だけが見えるという場合もあります。

Q. 原因は何かですか？

A. 網膜のある神経細胞(錐体と杆体)が機能を停止するということ

はわかっています。近年、あるタイプの患者さんには杆体の遺伝子異常があることが明らかにされました。しかし、このタイプはなぜ変性が起こるかはわかっています。この病気を研究することは我々にこの問題を解く鍵を与えてくれます。

**Q. どのくらいの早さで進行するのですか？**

**A.** 多くは非常にゆっくりした進行を示します。それは数年の、ときには数十年をかけた進行です。視力は1年たってもほとんど変わりません。

**Q. 失明することはありますか？**

**A.** 多くに人にとって「失明」とは光を感じることができないことを意味しています。少数の患者が高齢になって全くの失明となることもあります、多くはいくらかの視力（法律上の失明とは呼ばれるかも知れませんが）を保つことが出来ます。視力に関しては個々の患者さんで異なります。

**Q. この病気の患者さんは他にも問題がありますか？**

**A.** 普通はありませんが、生まれつき又は生後まもなく聴力に障害を起こすこともあります。このような患者さんはアッシャー症候群と呼ばれます。まれに他の症候群を伴うこともあります。

**Q. この病気は遺伝ですか？**

**A.** 遺伝には「劣性」「伴性」「優性」の三つの形式があります。「劣性」の場合、保因者同士が結婚すると子供は4分の1の確立で病気になります。「伴性」の場合、保因者である女性が結婚すると、生まれる男の子の50%が病気になり、女の子50%が保因者になります。「優性」の場合、患者の親から生まれる子供は男女に関係なく2分の1の確立で病気になります。

**Q. 眼球の移植はできますか？**

**A.** この病気で侵されるのは網膜の神経細胞です。この細胞は脳と繋がっており、現代の科学で知りうるかぎり、これを移植することは出来ません。よく耳にする「眼の移植」とは角膜の移植であり、網膜色素変性症とは関係がないのです。

**Q. 病気の進行を止める治療はありますか？**

**A.** 残念ながら今のところありません。治療法を見つけるための多くの試みが多年にわたって行われてきましたが、確実に科学的な効果を証明できるものはありません。研究者はすべての可能性のある治療法について精力的に研究を続けています。

## IRPAとは

網膜色素変性症は、網膜の光受容器と色素上皮細胞が進行性に変性して、夜盲と進行性の視野欠損を生じて、ついには失明にいたる病気の一群です。

3500人に1人、全世界では300万人以上の患者さんがおり、救いの手を待ち望んでおります。

先進諸国35ヶ国では、この難病の患者さんを救うために、IRPAを組織して活発な活動を展開しております。

IRPAは眼科の研究者、患者さん、そして支援グループの三者が三位一体となって、この難病の克服に努力する組織であり、International Retinitis Pigmentosa Association(国際網膜色素変性症協会)を略したもので

す。

先進国でこの会がないのは日本だけで、かねてから日本での結成を強く求められておりました。

本年5月、千葉大学眼科安達恵美子教授が、千葉県FURUSATO VILLAGEで、第31回国際臨床視覚電気生理学会を開催されました。

その折り、同学会に出席されたIRPAドイツ支部長のZrenner教授(チュービンゲン大学眼科)や、IRPAスイス支部長のNiemeyer教授(チューリッヒ大学眼科)、その他多くの教授から、IRPA日本支部長として安達恵美子教授が最適任であると推挙されたのです。

そこで千葉LCは、30周年記念のメインアクティビティとして、IRPA日本支部設立の基本300万円をドネーションして、積極的に設立を支援することにいたしました。

現在医学の最先端の分野でのホット・スポットは遺伝子治療の研究ですが、この研究が進めば、網膜色素変性症という難病も克服できる日がくることでしょう。

# C N 25周年記念式典挙行

## 東庄ライオンズクラブ

幹事  
L藤崎久男

11月14日、4R・1Z 東庄LC 25周年記念式典が、東庄町公民館を会場に挙行されました。

ご来賓、松丸ガバナーをはじめとするライオンズ関係  
ご来賓、ブラザークラブの代表等、多数のお客様にお集  
り頂き、盛大かつ厳粛に式典が行われました。

東庄LCは25年前、昭和43年3月に佐原LCをスポン  
サーとして誕生しました。以来四半世紀にわたり、佐原  
LCのご指導とブラザークラブの友情に支えられ、メン  
バーが一体となって数々のアクティビティを達成し、優  
秀クラブ金賞をはじめ多数のアワードを獲得してきました。

この25周年記念においても次の記念事業を行いました。

た。

- 青少年健全育成のために
- 福祉施設のために
- 幼児教育のために
- 福祉・教育のために
- 環境浄化のために
- 地区ACT資金のために

《総額三百六十八万円》

私どもは、この25周年記念式典を節目として「愛汗の  
心でつくすまごころ奉仕」をモットーとして、地域社会  
の皆さんに愛される奉仕団体を目指し、さらなる精進を  
重ねていきたいと思っております。



# 1R新入会員研修会開催

## 160余名が集う

1 R P R情報委員

L 箕輪信治

1R新入会員研修会がL保科RCの主催のもと9月27日西船フローラに於いて138名の新人登録、各クラブの代表1名の計163名を対象に行なわれた。

講師には地区名誉顧問のL寺嶋、前RCのL西野をお迎えし、メンバーとしての心構えと単一クラブの運営についてはL保科、ZおよびRの運営、等についてはL西野、CAB及び国際協会についてはL寺嶋と夫々の立場から一時間三十分に及ぶ講演は、三人の講師の話術のたぐみさと、皆さんの熱心な聴講で成功裡に終了した。

講演終了後は数名の質問者が立て、クラブと政治のかかわり方や、組織の在り方等について質問がなされ、答弁に立つ講師の方々も汗だくという状態で研修会らしい盛り上りを見せた。

その後パーティに移り、夫々のテーブルでは新人同志若い雰囲気の中で今後の活躍を誓う輪、はげます輪、食べる輪、飲む輪がくり広げられ、なごやかなうちに終了した。



# 変革の時代とライオンズ

浦安シーサイドＬＣ 会長

L 鈴木定雄



今、日本は平成維新であるといわれて、万年与党が野党に、資産デフレによる金融機関の大混乱、予想だにしなかった土地神話の崩壊など、枚挙に遑がありません。

戦後日本経済の復興を成し遂げた先達も、今日の事態を予測し得なかつたのではないかと思えます。仕事上の事でも、経験的に予測し得ない事態が次々と発生し、従来から継承してきた会社の基盤も搖るぎだし、リストラクチャリングを余儀なくされている大企業も沢山出てきています。成功してきた人や企業ほど変革を望まないものではないでしょうか。しかし、時代は容赦なく変革を求めてきています。

自らも身の回りを見直して、原点に戻り、再構築しなをすべき事柄に目を向ける時だと思います。

「ライオンズの原点、それはWe Serve」、これは我達クラブの今年のスローガンです。We ServeとI Serve、現在のライオンズの活動の中に個人の資産提供や個人信用に立脚した資金集め、犠牲的とも思える時間提供に基づくクラブ運営など一部分のライオンの奉仕……I Serveで成り立っているクラブのなんと多いことでしょうか。We ServeにはI Serveが伴います。しかし、We Serveの精神はクラブのライオンみんなが等しくI Serveを提供し合ってクラブを盛り上げて行こうと言うことで、一部の人におんぶしたものではなく、みんなが等しく無理のない範囲での奉仕で運営してゆけと言っているのではないかと私は思います。犠牲の伴った奉仕は無理があって、ライオンズのモットーである「We Serve」とは違うものだと思います。慣習となっている事柄の中にも、反省し、見直しを必要とするものもあるのではないかでしょうか。ライオンズ・クラブの益々の発展のために、本当の意味の「We Serve」に就いて考えてみる事が大事な事ではないでしょうか。

そろそろ、今期の指名委員による役員の指名の時季がやってきます。ライオンズの会員ならば誰にでも会長や幹事、各委員長に指名されても「We Serve」の精神で喜んで引き受けもらえるのではないでしようか。少しでも犠牲を強いる指名は出来ませんし、してはいけない事だと思います。「We Serve」言うは安いが実行は大変な難しい事だと思います。

6月の三役研修会の会長部会で「東京ライオンズクラブで実施している合同事務局の件」で経費節減にもなるので333-C地区でも考えてみないのかと質問し、矢田元ガバナーからは「やってみては」、松丸ガバナーからは「過去にトライして失敗した事があった」との返事を頂きました。

会長の中で興味を持ってその実現を待たれておられる方も大勢いらっしゃるとおもいまして、その後の経過報告をします。

ゾーンの有志の方とご一緒に東京クラブを都合3度ほど見学しました。東京クラブと同じやり方でも検討しましたが、クラブができて35年のクラブから出来立てのクラブまでいろいろのクラブがあって、それぞれのクラブの事情の違いがあり、直ぐにでも参加したいというクラブもあれば、自分のところは今まで充分であるというクラブがあってなかなか一律に移行できない。今の事務員が辞めたり、事務所契約の更新の時にといった将来的に、それに移行すると考えられるが現時点では必要がないのか殆どのクラブでした。

開発できた組織は東京クラブとは違って、3万円／月プラス1,500円／会員の費用でクラブ事務を代行してくれるものです。クラブ宛の電話の授受からクラブと会員間の連絡、ワープロによる文書作成、郵便の受配などクラブ事務の総合的な代行と㈱電通のELネットによる情報サービスなどへの自動加入により、近代的なクラブ運営へのステップとなることでしょう。興味のあるクラブ会長は資料を請求して下さい。(電話 0473-50-7600 事務代行) 以上

## 干潟LC

### 第14回LC杯争奪ゲートボール大会開く

去る11月2日(火)、干潟LC主催による第14回ゲートボール大会が、秋晴れのもと干潟町営長熊運動公園ゲートボール場に於て開催された。会場には早朝より30チーム、200名の選手が三々五々参集し、定刻の8時に開会式を行い、8時30分には競技が開始された。

日頃から練習している各チームは、それぞれの力量を精一杯出し、熱戦が繰り上げられた。終始和気あいあいの中、うまくゲートを通過したり、上手に相手の球にタッチしたりする度に、ため息、歓声、奇声の織り交じるなか、賑やかに競技が続けられ、午後3時過ぎには、一切の行事が終了した。参加された老人の中から『よかつたよ』『楽しかったよ』と喜びの声が返って来た。



## 旭LC

### 第15回海上都市児童生徒科学工夫作品・論文展実施

9月14・15日、青少年育成事業の一環として、旭LCが最も力を入れているACTの一つとして上記展覧会を今年も大成功のうちに開催することが出来た。

会場には、子供たちの作品を観る両親、お年寄り約1,000人の人たちが訪れ、熱心に観察され、又、当日はL磯村ZCをはじめ飯岡LC三役各位からも励ましを頂き、館内は終日、大賑いであった。尚、後日学校関係を代表して飯岡小学校長より、鄭重なる礼状が寄せられ、担当者一同その成果を実感することが出来たようである。



▲会場風景 力作に見学者はつい立ち止る



◀表彰式

## 5 R-1 Z 4クラブ合同 A C T 災害見舞金贈呈 木更津LC、木更津中央LC、袖ヶ浦LC、木更津金鈴LC

「大災不死必有後福」(大きな災難でも死ななければきっと後に福がある。)

今年は天候不良のうえ、天災が各地で出没し、北に地震、南に台風、集中豪雨と自然の恐ろしさを改めて考えさせられた年のように思う。

5 R-1 Z (4クラブ) 合同納涼会が、8月19日(木)木更津富士屋ホテルに於て行われ、その際の収益を台風13号で被害に見まわれた鹿児島県に木更津市役所厚生課(日赤)を窓口として、205,204円を1Z、L安田正吾ZCが代表して見舞金として贈呈して来た。



### 長南LC

## 社会福祉

10月22日、笠森保養センターで、「第13回ひとりぐらしの老人を励ますつどいの会」が行われた。

当日、クラブより三役が出席して激励とお祝いの品を差し上げました。来賓の方々の挨拶のあと、町の民謡クラブやフォークダンスクラブ、中学生の演奏発表などがありました。

終始なごやかな雰囲気の中で行われ、有意義な一日を過しております。



## 環境保全



10月18日、町内のライオンズ奉仕デーを行いました。秋の行楽シーズンを控えて笠森自然遊歩道の清掃作業を実施しました。



8月4日、町内のカーブミラーを清掃しました。汚れていたカーブミラーを150基程清掃し、見違える程きれいになりました。地元の方々より感謝されました。

## 東金LC

### 献血奉仕活動

TR PR情報委員

L 平賀 昇

11月15日、東金LC恒例の献血奉仕活動が午前9時30分より市の中心部、最高の人集りの良い処、且すばらしい好天に恵まれながら実施され、朝から献血者のとぎれることなく、受付けも多忙を極めた。

終ってから集計をみると、献血協力者が、164名、採血量が48,600ccで他ではみられない抜群の成績を収め、会員一同喜びに浸った。



### 薬物乱用防止 8R-2Z合同

佐倉・四街道・八街・八街グリーン4クラブ

ZC

L 塚田雅二

成田国際空港に隣接する、北総の大地をゾーンとしている8R-2Z、四クラブは佐倉警察署のご協力により、大変お忙しい所、各クラブの例会に合せてお越し頂き、地域の指導的立場にあるクラブ員に、防犯の専門家である岩瀬防犯課長を始め黒川係長さん等のご協力で、10月19日八街グリーンLCをスタートに、順次四クラブを訪問して頂いた。

大麻を暴力団が新たな資金源としたり、ヘロイン・コカインの麻薬事犯の急増・海外渡航者の増加等による薬物乱用者の拡大も目立ち、さらに青少年や主婦など一般市民層へも浸透してきており、覚醒剤等の乱用による生



佐倉LCに於て岩瀬防犯課長の講演  
活破綻、家庭崩壊等悲劇がおきております。

また覚醒剤入手資金をつくる為の犯罪やその薬理作用による幻覚、幻聴幻想に起因する犯罪も続発し大きな社会問題となっております。

薬物に関する国際的な取組の重要性、認識が世界的に高まりつつある。より多くの方々に覚醒剤や薬物の乱用を防止するため、知識をもって頂きたいとの、大変ためになるお話をうかがった。

四街道 L C

## C S F ・ 及び市社会福祉基金贈呈



第10回市民チャリティゴルフ大会を主催し、280名の参加を頂き、盛会に開催致しました。(9月13日)

C S F 視力ファーストへ6,000ドル  
社会福祉基金へ300,000円を贈呈しました。

## 環境保全 参加22名

吉岡地区 栗山地区 (8月28日)

トラック3台分 トラック4台分

大型ゴミ 三年前のゴミ  
最後ドロドロの大作業でした。  
二時間後にはきれいな道に戻りました。



## 社会福祉 特別養護老人ホーム訪問

敬老の日 一足早い訪問を行いました (9月4日)

特別養護老人ホーム 旭園

特別養護老人ホーム あすみの丘

特別養護四街道老人ホーム

各老人ホームにナシ 6箱 合計18箱  
リンゴ 3箱 合計9箱  
バナナ 3箱 合計9箱  
絵入りハガキ 300枚  
ザ・カルシウム 600枚

以上、施設を訪問、差し入れを行いました。

写真は代表に果物を手渡す



## 下総LC

### 下総町民憲章カード寄贈

本年3月、町において制定された下総町民憲章を、町民に周知いたしました。町民各位が手軽にポケットに入れて、携帯に便利な憲章カードを作成し、10月8日、下総町へ2,500枚寄贈し、各世帯に配付するようお願いした。



会長椿 正一郎(中央)より澤田町長(左)へ贈呈。右はL吉沢幹事。

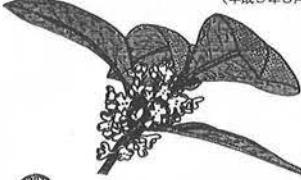


**下総町民憲章**

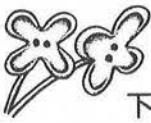
私たちは、利根川の育む、緑と自然に恵まれた下総町民として、歴史と伝統を重んじ、いっそう文化の香り高い、活力に満ちた町をつくるため、この憲章を定めます。

1. 自然を愛し、水と緑の豊かな美しい町をつくりましょう。
2. スポーツを愛し、心身を鍛え合う頼もしい町をつくりましょう。
3. 隣人を愛し、心のかよい合う温かい町をつくりましょう。
4. 文化を愛し、生涯ともに学び合う明るい町をつくりましょう。
5. 郷土を愛し、徳性と秩序を尊ぶ清々しい町をつくりましょう。

(平成5年3月制定)



下総ライオンズクラブ



**下総音頭**

1 関東平野を ふだつに分けて  
なカを取り持つ 坂東太郎(ア、ソレ)  
ここは下総 向いは常陸(イル)  
夢とロマンを 結ぶ橋(ア、ヨイシヨ)  
常総大橋 夢の橋へ

2 音に聞えた 名高い札所  
坂東二十八 観音様は(ア、ソレ)  
町の皆さん 自慢の一(イル)  
愛と慈悲との まごころは(ア、ヨイシヨ)  
安産祈願の 守り神へ

3 町のシンボル 駅前通り  
一の鳥居は 小御門様よ(ア、ソレ)  
森に神社が そびえて見える(イル)  
いつもやさしい まなざしで(ア、ヨイシヨ)  
下総心を 支えてるへ

4 三つ合わせて 一つの町に  
固く結んだ 人の和まるく(ア、ソレ)  
遠き祖先の 血を受けついで(イル)  
築く明るい 下総町は(ア、ヨイシヨ)  
黄金の波打つ 米どころへ



## 酒々井LC

### 環境保全

酒々井LCが植樹した梅林の草刈りと梅の木の剪定を行った。



佐倉ＬＣ

## チャリティーバザー

10月23日



## 佐倉順天堂開設150年記念展後援

10月14～16日



1993年(平成5年)10月25日(月曜日)

## 合唱組曲楽譜の贈呈

合唱  
組曲

水の幻影を寄贈



佐倉市に寄贈された合唱組曲「水の幻影」の楽譜

若手女性音楽家の作

LCホール開館10周年で



西日本新聞社 260



成田平成LC

5周年を迎え、記念行事も多彩に

成田平成ライオンズクラブ

3日には盛大に記念式典を開催

成田平成ライオンズクラブ  
(会長・池田忠彦さん)  
が今年5周年を迎え、さる  
3日、成田ビューホテルで  
その記念式典が盛大に開催  
された。

成田平成ライオンズクラブ  
特に国道295号線の景観に  
関し、乱立状態の看板を整  
理して美観の回復を願うも  
のの、美しい道路、すっきり  
した街路、わかりやすい道を  
目指して具体的に提言する。  
その他、障害者生活作業  
施設の「いんば学舎」への

贈呈などを実施。また記  
念式典当日には、日本話し  
方センター所長の江川ひろ  
しさんの講演会も開催した。



エリート情報掲載記事

成田グリーンLC

## 成田グリーンLCチャーターナイト5周年記念

幹事

LC齋藤忠夫

記念事業

- 自動血圧計（市役所1F待合室設置）
- 甚兵衛の森を守る会（記念碑補助金）
- ボーアスカウト（テント1張り10人用）
- 市制40周年（記念植樹）
- フルリクリーニング車椅子（福祉課）
- 8ミリビデオカメラ（消防署）
- メタセコイア記念植樹28校（教育委員会）
- LCIF事業（国際協会）
- 姉妹会クラブ締結事業（桃園仁友國際獅子会）



# YE派遣生リポート

## ハンガリー

1 R 2 Z 松戸中央LC派遣生 徳永陽子

I. 期間：'93. 7. 23～7. 31

場所：バラトンボグラー Balatonboglár

ホスト家庭名：ビツォ・ギューラ BICZÓ GYULA

その他：ライオンズのメンバー

333-C地区の篠崎さんとのダブルホスト

感想：最初の滞在で篠崎さんと一緒にいたのは心強かった。残念だったのは、BICZO 家には子供がいなかった、というか、ライオンズでの千葉に行っていて、もう一人も海外旅行をしていたので同年代ぐらいの人がいなかったこと。でも、その分motherが色々な所に連れていってくれた。

生まれて初めてディスコに行った。けど私はあまり好きになれなかった。バラトン湖で泳いだことは良い記念になった。



II. 期間：'93. 8. 1～8. 10

場所：ミシュコルツ Miskolc

ホスト家庭名：キギョッシー・カティンカ Kigyossy Katinka

その他：ライオンズのメンバー

単独ホスト

感想：家の前が湖、という自然環境が最高な所だった。特別行ったのは、エゲルという城のある町とアクテレクというしょくにゅうどうのある町ぐらいで、他の日は毎日、湖で泳いだり水上自転車に乗ったりして、のんびりした生活をした。トルコから来た女の子も近くに滞在していたので私のホスト家庭とトルコから来た子の家庭と一緒に出かけるのが多かった。ミシュコルツにいた期間が特に暑くて毎日、日中は39°Cとか40°C近い日が多くて暑かった。

III. キャンプ

(1)'93. 8. 10～8. 13 ミシュコルツ Miskolc

キャンプのメンバーと顔合わせ。何と全部で14ヶ国から来ているキャンプだった。ダウンタウンで買い物をしたり、13Cに建てられた城跡を見に行ったり、観光中心だった。他に、

ショウにゅうどうへ行ったり、ハイキングに行ったりもした。一番感激したのは、夜、散歩したこと。北斗七星が大きかった。流れ星を見れたのも良かった。

夜になるとシャワーのお湯が出なくなり、朝は水も出なかつたのが、ちょっと（イヤ、かなり……）つらかった。

(2)'93. 8. 14～8. 16 ニアパートル Nyírbátor

着いた日の夜、ディスコへ行った。けっこうハードだった。船の上で昼食を食べた後、川をぐるっと周ったり、世界でここしかない、という墓へ行ったり、教会へ行ったりした。初めて、エアロビクスをやった。きつかったし、恥ずかしかったけど楽しかった。

大きな公園のような所で、プールに入ったり、乗馬をした。初めて自分だけで馬に乗ったので感激した。

バスルームにカーテンがついてなかったのがちょっと困った。

(3)'93. 8. 16～8. 20 デブレツェン Debrecen

着いた日の夜、8:00～11:00までプールに入った。それも屋外…。

市内の買い物ができたのがうれしかった。ハンガリーや日本以外の国は夜の遊びが長い。ピリヤードを行った日も午前2時に家に着いたくらい。それでも早い方で他の人達は途中、ディスコに寄って帰ったのが3時ごろだった。プラタでは馬車にゆられながら馬や豚やハンガリーの動物の群を見た。買物で値下げ交渉をするのが楽しかった。8月19日の夜、例会というか、キャンプ最後のパーティーをやった。20日の日は、フラワーカーニバルを見た。イタリアの行進がかっこよかった。

IV. 期間：'93. 8. 20～8. 28

場所：ブダペスト Budapest

ホスト家庭名：リゲティバーリ・クリスティーナ Ligetvári Krisztina

その他：ライオンズのメンバー

単独ホスト

感想：毎日どこかしらに出掛けていた。マティアス・チャーチやフィッシャーマンズバッシュ、国会議事堂などは建物がすごい！細かくて、感激した。盆栽展では作者に写真を撮ってもらった。

マーガレットアイランドでは日本の庭園があったり、花畠もきれいだった。他にも動物園や、セントンドレ、マティアス王の城跡を行った。ドナウ川で船に乘ったり、毎日が忙しくあつという間に過ぎてしまった。

V. 最後に…

決して短くなかった40日間、でも終わるとすごく短く感じてしまう。つらいことはなかったけど、会話の点では、反省すべき点がある。日常会話ができるても、自分の考えが思うように口から出てこない時などは、自己嫌悪におちいった。せっかくできた友達にも「もう少し英語を勉強してくれ。」と言われるしまつ…。この滞在はいろんな経験や感激を私に与えてくれた。本当にやって良かったと思う。いつかもう一度、ハンガリーに行きたいと密かに考えている私である。

## ハンガリー

1R3Z 柏グリーンLC派遣生 濃野有希代

7月23日から8月28日までハンガリーへ行かせて頂きました。4家庭に滞在し、10日間は他のヨーロッパから来た人達と一緒にキャンプに参加しました。ハンガリーは東欧に位置し暗いイメージを持っていたのですが、着いてみると景色はきれいで治安はいいし暗いイメージは一掃されてしまいました。

最初の家庭は湖の近くに住んでいて、そこには自然がいっぱいあり、道端に生えている木の果実を勝手に摘んで食べているのに驚きました。その家庭はレストランを経営していて夕方になると全員が手伝いに行ってしまうのですが、マジャル語が理解できない私が手伝うわけにもいかず、お母さんとコミュニケーションをとるのが大変だったのですが、一度だけケーキを作り、そこに独語とマジャル語しか話さないその家の子の友達が加わり言葉が通じないながらも大変楽しく過ごしたのを覚えています。



2つ目の家庭はハンガリー第5の都市に住んでいて、私は博物館のような部屋を与えてくれました。ここにいたとき別の2つのホストファミリーとホームパーティーが3回行なわれました。この時次に述べるキャンプに参加する数人に事前に知りあうことができました。それに日本ではホームパーティーなんてしたことになかったので沢山の人と話をしなければいけないのは大変でしたがこのことは貴重な経験になりました。

次の10日間はキャンプに参加しました。北東の地方の3都市を順にまわり、山への遠足や教会見学、プール、乗馬、その他様々なことを楽しみました。ここには他のヨーロッパの国からも沢山の人人が参加していたのでいろいろな国のこと直接聞けてよかったです。最も大変な事の方が多くて普段何気なく日本語で口をついて出る様な言葉、いわゆる日常会話を母国語でない英語で行うということがいかに難しいか思い知らされました。

キャンプの最終日に「あなたは2家族に滞在するから」と言われて次の家庭に行ったのですが、そこで19才の女の子に「彼らは英語を話さないからあなたは身振り手振りで説明しないといけないよ。でもすごくいい人達だから…」と言われました。

一瞬不安に思ったのですがすぐに『言葉が通じない所でどうやってやっていくだろ!?』と楽しくなってきました。行ってみると英語を話す20才の女の子を呼んでくれていていつも彼女が一諸に行動してくれました。この人達はすごく日本に興味を持っていて、いろいろ私が知らない事まで質問されてしましました。そして私に様々な所を見せててくれてすごく歓迎してくれて、帰国の日が近づく

につれお母さんがすごく残念がってくれて、本当に暖かい家庭だなあと思いました。

最後になりましたが私にこのような貴重な経験をする機会を与えて下さったことに感謝致します。

## アメリカ・カナダ

1R3Z 印西LC派遣生 丹澤弘樹

私のホストファミリーは2つありました。

初め、というより当日までホストファミリーは一つだと信じていたので、多少驚きました。

初めに、アメリカのワシントン州、シアトルから車で2時間ほど

のクワイルシーンという静かな町の家庭に迎えてもらいました。家族構成は、父親と母親そして20と19の娘さんが一人づつと犬2匹、猫1匹、孔雀が8~12匹ほどいました。孔雀を飼っているのに驚きました。それと、その近くを車で走っていると鹿のマークの標識があり時々鹿が飛び出すと聞いて、すごい所だと思いました。

アメリカで楽しかったことは本当に色々ありましたが印象にのこったのが、ホストファミリーの所でアルバイトをしている男の子といっしょに、ハイキングに行ったことです。

彼と音楽や映画についてカタコトの英語で話していると彼が私に、将来は何になりたいか、聞いてきたので、私はまだ決めていないといって、彼に君は何になりたいのか聞くと、とりあえず軍隊に入つてお金をためてから考えると答えてくれました。彼は日本だとまだ中学2年生なのに自分の生活をしっかり見ていてえらいなと思いました。

2つめのホストファミリーはカナダのブリティッシュコロンビア州、バンクーバー空港から北へ1時間ほどいった所にある、クリアブルックという町でした。

その家庭には、5才の男の子と8才の女の子がいて、両親が2人とも仕事でいないときは、ほぼベビーシッターのようなものでした。それは楽しいのですが私は子供の世話など、したことがなかったので、かなりエネルギーを使いました。カナダもアメリカも靴を脱いで家に上がる家庭がほとんどだったのは意外でした。

食事に関しては、色々な人にそれほど良くはないんじゃないかと言われてましたが、私はアメリカやカナダなどの食生活のほうが自分には、あってるなあと思いました。

気温は、アメリカやカナダとも同じような感じでたしかに気温は高いのですが、かんそうしているのでそんなに暑くは感じなかったです。



# YEプログラム・レポート

最後にこのプログラムに参加できたことについて感謝しています。ありがとうございました。



## ミズーリー州 2R1Z 船橋ポートLC派遣生 竹内麗亜

7月18日から8月28日までアメリカのミズーリー州のコリンズという町でホームステイをしました。ホストファミリーの家はスプリングフィールド空港から55マイル離れていて、車で約1時間位かかるけれども、時速90km位で走ってその位かかります。ホストファミリーは1家族だけでした。私は高校2年の日本の女子とWホストでした。3人家族で、お父さんのBill、お母さんのKaren、息子のChris。

Billはスクールバスの運転手、Karenは同じ学校の給食のおばさんをしていて、Chrisは他の場所で仕事をしていて、BillやKarenと一緒に住んでいませんでした。又Billはライオンズクラブでは幹事をしていました。

いなかだったので治安はよく伸び伸びとできました。また広い土地をもっていて、105エーカー(約128625坪)だそうです。その中には湖を3つ持っていました。そして、まわりには、野生動物がたくさんいて、うさぎ、りす、しか、あらいぐま、キツネ、コヨーテ、七面鳥、カメなどいました。

いろいろな所へ連れて行ってもらいました。ライオンズクラブのピクニック、カンザス・シティにいる日本人女性の友達の所、OZARK EMPIRE FAIR、Silver Daller Cityという、遊園地みたいな所、そして、Shoji Tabuchi Showという日本人の男性がジャイオリンを弾いているショーを見につれていってもらったりしました。

Silver Daller Cityへはミズーリー州へ行った何人かのYEの方と一緒に行きました。

向こうは夜の9時過ぎまで日が出ていて、夕食は5時頃食べて、その後湖で魚つりをよくしました。その湖では、スズキがつれて、フライにして食べました。アメリカではナマズを食べます。私も初めてナマズを食べました。ですが、正直いってあまりおいしくなかったです。向こうの食事でよく食べたのは、サンドウィッチです。夕食でもサンドwichを食べます。私はごはんはもちろんのこと、パンも好きなのですが、さすがに毎日毎食パンではあきてしまい、

カリフォルニア米を買ってきて炊いて食べました。カレーを作つてあげると喜ぶといわれていたので、カレーを作つたところその通りでした。他には、チャーハン、ポテトサラダ、インスタントの味噌汁を持っていったので、それでおじやを作りました。特にポテトサラダが気に入っていたようです。

食べ物ではないのですが、家にいてどうしても暇な時間ができます。その時私は、刺しゅう糸で作る、プロミスリングというのがあるのですがそれを作つていたところホストファミリーは、それが気に入つたらしく、「作つてくれないか?」と言つたので何本かつくりました。これから行く人は、プロミスリングを何本か持つていくとよろこばれるのではないかでしょうか。

ホストファミリーのお父さんは、おもしろいというか、変なおじさんでして、夜になるとしつこくすぐつたりしていたので、私達は家中、逃げまわっていました。

最初のうちは楽しくしてくれようとしているのかなと思っていたのですが、あまりにもしつこくしてくるので、私達も少々、腹が立ち、「日本人の子はしつこくかまわれるのがきらいなんだよ」と言つたところ、「しつこくかまうのがアメリカの習慣だ」といわれよけいしつこくおいまわされました。

このような色々なことをしたホームステイでとても楽しかったです。多分、この先、このように長く外国に行ける機会はないでしょう。とても貴重な体験をさせていただきました。決して、この思い出は忘れません。

お父さん、お母さん、そして、ライオンズクラブのみなさん、本当に世話になり、また、楽しい経験を与えて下さつてありがとうございます。

心から感謝したいと思います。



## フランス 2R2Z 白井LC派遣生 新見由理

Bonjour, mesdames et messieurs, mesdemoiselles !

Comment allez-vous? Ju vais très bien.

Mon séjour en France s'est bien passé.

C'était merveilleux!

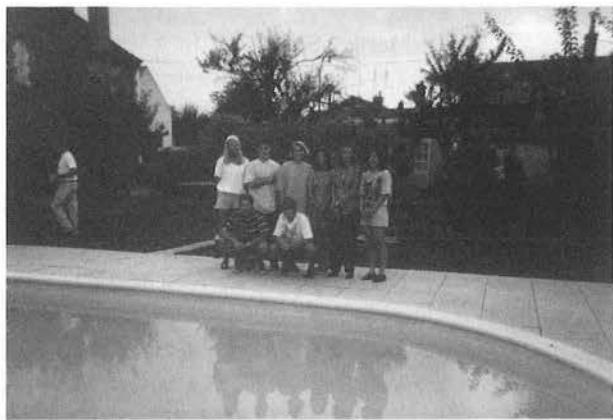
Parlez en japonaise.

私は、3軒のお宅にお世話になりました。

まず1軒目は、7/18~7/26と8/25~8/28です。

ParisからMetroで約15分位のお宅でした。

パパ、ママ、息子の3人家族でした。最初の一週間は、毎日の様



にParisに観光に連れて行ってもらいました。

あの有名な凱旋門、エッフェル塔、ノートルダム、シャイヨー宮殿。そこでナポレオンの墓を見ました。サークレ・クールなどいろいろ連れてっていただきました。あとルーヴル美術館にも行きましたが、お休みで中には入れませんでした。

最後の8/25~8/28は、Parisに買物に連れてってもらいました。

帰国日の28日は、ヴェルサイユ宮殿に連れてってくれました。

話に聞いていた通り、とても広くて、とてもきれいなトコロでした。

2軒目は、7/26~8/25でした。

パパ、ママ、娘、息子の4人家族でした。

この家には、とてもお世話になり、とてもかわいがってもらいました。

最初の一週間はスイス、スウェーデン、ノルウェーの子、3人と一緒にホームステイをしました。この3人と息子のsylvainは7/9~7/25の2週間、そこのLIONSの地区でヨーロッパ各国とCANADAの24人でcampをしていて、すごく楽しかったと言う話を聞いて、私も参加したかったなと思いました。

だから、その1週間はその4人がとても仲良くて、入るすきがないという感じでした。でも、他の同年代の子たちと接っすることができ、楽しかったです。

娘のNadineとかいとこのOlivierやOlivierの彼女のLatitiaとかNadineのフィアンセのRegisとかと気が合って、一緒にいろいろ連れてってもらったりしました。

途中の8/3~8/10は、sylvainの友達の家でホームステイしました。

ここのお宅は、パパ、ママ、息子2人と娘1人の5人家族でした。ここでめったにできないすばらしいことを初体験しました。

というのは、上の息子が飛行機が好きで、そこでバイトしてるとか、そこと友達なのか詳しいことはよくわかりませんが、モーターなしの飛行機で空を飛んだことです。初めは、どうやって飛ぶのか不思議でしたが、上手く風にのって、10分~15分位ずっと飛行していました。

町がちっちゃく見て、すごい感激でした。

あとLYONというFRANCEで3番目に大きな都市に2泊3日の小旅行に連れてってもらいました。

下の息子が夜とか友達のところとかに遊びにつれてってくれて、同世代の友達ができたので、すごく楽しかったし、うれしかったです。また2軒目に戻ってきて、昼間はほとんどswimmingで。

夜はsylvainやNadineと毎晩語り合ってました。恋愛の話や、欧

米と日本の違いとか、人生についてとか。

あとDiscoがあるのでDiscoしたりとか。

8/16からいとこのLaurenceが来て。だから、1人でいる時間はほとんどありませんでした。充実した日々を送りました。

Franceに行って感じたことは、LIONSがすごいなあと。

本当にすごく国際的だなと思いました。

あと日本製品が思っていたよりもすごくたくさんありました。

電化製品はみるものほとんどが日本製品でした。冗談で“Japonais!”とか言ったら、本当に日本製品だったりして。

電化製品の90%が日本製品だそうです。

あと車も多かったです。Nissan、Mazda、バイクはYAMAHA、SUZUKI。

新ためて、日本やLIONSのすばらしさを認識させられました。

本当にこの夏は楽しかったです。今まで生きてきた中で一番樂しくて、一番充実していた夏でした。

どうもありがとうございました。

Merci beaucoup!!



## カナダ

2R2Z 習志野中央LC派遣生 渡辺晃子

私はこのホームステイに参加して本当にいろいろな体験をした。

カナダは、人が、景色が日本とは全くちがっていた。

お父さんは毎日6時には帰ってくる。日没が遅いので夕食のあとプールに行ったり、近くの体育館でホッケーをしたりした。

日本では考えられないことだ。私の母だって6時になんてとてもじゃないけど帰ってこれないし、夕食の後子供と遊ぶなんて普段考えもしない。

それと、向こうの人は全然知らない人でも目が合えばニコッとなり、「Hi」と声をかけた。これは向こうの人にとっては当然のことなんだろうけど、日本人の私にとってはとても新鮮で、そしてすごくうれしかった。ずっとこういうふうに暮らしたら人間変わるんじゃないかなあとさえ思った。

私は2つの家庭をまわった。最初の家庭は両親と15才と12才の女の子の4人家族だった。おじいちゃんやおばあちゃんなどたくさんの親戚にも会った。みんなとても親切してくれた。おばあちゃんはお別れの時手作りのしおりをくれた。これはとってもうれしかった。

ホストシスターのHeatherの友達とも仲良くなつて、よく夜散歩したり、あと、一緒にキャンプにも行った。こういうことの中でよく思ったことだが向こうの子は日本人に比べて親から自由でいると

# YEプログラム・レポート



思う。日本だったら友達といっしょでも10時や11時に外をブラブラしているなんて許してもらえないし、友達どうしのキャンプとかもうるさいことを言われるのではないかと思う。その分責任が自分にあるということなんだろうか。

2つ目の家庭は両親と大学生の男の子と16才の男の子と15才の女の子の5人家族だった。この家庭のとき、5泊6日のライオンズクラブのキャンプに参加した。アメリカやドイツやイタリアなどいろいろな国からの参加者がいた。この時は約30人の子ども（14~16才）が参加したが、言葉がよくわからない私にとても親切してくれた子たちを私は一生忘れないだろうと思う。

6週間の間に出会った人たち、その人たちからもらったたくさんの親切はこの先ずっと私の心に残るだろう。そしてこれからの私の生き方の中に彼らの笑顔と優しさを持っていけたらと思う。



## オーストラリア

TR2Z 成東L.C派遣生 山田洋輔

目的：日本の生活のみならず、諸外国の生活・習慣・考え方を学び、これからの中間社会の生活に役立つ様に生活する

派遣国名：オーストラリア、南オーストラリア州、カンガルー島

派遣先クラブ名：西カンガルー島ライオンズクラブ（201S3）

期間：1993年7月16日（金）～8月27日（金）の42日間

ホスト家庭：○Hugh and Marilyn SMYTHE（牧場経営者）

以上1つの家庭へ、久留米中央L.C.の江口宏樹君と2人でダブルホストとして40日間ホームステ

イをした。

ホストクラブ：会長—Marilyn SMYTHE（ホストマザー）

例会—7月下旬…食事とアイバンクについての例会

8月下旬…食事とスピーチ

体験した事：○地理的な事

とにかく広かった。その割には人は少なく、カンガルー島の面積は、東京都の2倍という広さなのに、人口は4,000人。又、牧場は、東京ドーム何個分という単位で数える様な広さに、羊が4,000頭以上、次の家までは4km、小さな店（ガソリン・食料・雑貨などが買える）まで35km、島1番の大きな街Kingscote（人口1,500人）まで70kmという広さであった。物価の方は、食料品は一般的に安く、ジャガイモや牛肉にいたっては、日本の100gの値段で1kg買う事ができる。ガソリンは1ℓ50円ぐらいだった。

○生活について

学校は、35km先のPandaraという街までスクールバスで行き、1つの学校で、小学生から高校生まで学んでいた。制服は、もちろんなく、大人も日本にくらべ、スーツを着ている人が少ない。交通は、この島には電車はもちろんバスさえなく車を運転できないと生活できない。毎週土曜には、オーストラリアン・フットボーラーの試合が島の中各地で行なわれ、人口の半分以上が見に行く。又、食事は、塩コショウで味つけをする簡単な物と、ジャガイモ・人参・グリンピースなどに主食のトーストが多く、日本食がどれだけうまいかを思い知らされた。

○仕事について

ホストファミリーを代表に牧場経営が多かった。仕事の内容は、とてもなく広い牧場から羊等の家畜を車、犬を使い連れて来て殺して肉にするか、羊毛をとる。ぼく達は、子羊の注射と尾を切る仕事を手伝った。又、牛、豚、羊、鶏を殺して、内臓を取り出す仕事を間近で見た。

○動物について

カンガルー島は、オーストラリアの中でも動物の宝庫と言われるぐらい野性の動物が多かった。見る事ができた動物は、カンガルー・コアラ・ポッサム（オーストラリアの都市部にも生息する）、ウォンバット、エミュー（ダチョウの次に大きい鳥）、孔雀、ペンギン、ペリカン、アザラシなど。カンガルー、ポッサムについては、日本の犬猫の様に、車に引かれるほど生息している。

○オーストラリア人の考え方について

まずは、日本人に比べ、とても子どもらしい大人だった。甘い物は大好き、ゲーム（トランプ等）も大好きで、勝てば大喜びをして、負ければ泣くほどやしがる。好き嫌いは多く、日本食には見向きもしない人もいる。又、子ども達は、ぼく達に“麻薬を持っているか？”などと聞いてくるほどすごかつた。

感

想：1番心にのこった事は、カンガルーにえさをあげたのも思い出になるが、それよりも2回目の例会の出来事だ。その日、会長（ホストマザー）が日本語通訳の人を呼んでくれていた。しかし、スピーチは2

人ととも英語で行ないその後の質問の時だった。メンバーの1人が“オーストラリアの食事はどうですか?”とぼくに質問した。正直言ってオーストラリアの食事は、すぐにあきてしまい、まづくはないが、うまくもなかった。が、横にホストマザー（会長）がいたので、日本人の「立て前」というやつで、“おいしかったです。”と答えた。すると、通訳の人が、“それは、みなが期待している答えと違う。日本人の悪い所だ。”と言われた。その後は正直に“味つけが簡単すぎて、日本食の方が良い。”と言った。日本人のそういう所は、ぼくが嫌いな所だった。でも、自分自身も、やはり日本人なんだと思った。これからの時代、各国が他の国の人々の良い所と悪い所を認め合わなくてはならない事が理解できた。こんな貴重な体験ができたのは、世界のライオンズクラブのおかげです。感謝します。



## カリフォルニア

8 R 1 Z 成田平成LC派遣生 桧見美奈

出発前、私の気持ちは、期待と不安が入り混じった何とも言えぬ緊張感で一杯でした。その緊張感が無いに転じたのか、ロサンゼルス空港でとんだハプニングが起きました。私は遅れ出発だった為ロサンゼルス空港から乗り継ぎの飛行機に乗る人は、私一人でした。

ロスに到着したのが遅れた為、急いで乗り継ぎせねばならないのに、入国審査や荷物のピックアップにも手間がかかり、サンディエゴ行きの飛行機の出発時刻10分前になんて、現地のJTBの方と出会えない有様だったのです。私がおろおろしながら乗り継ぎの飛行場に向かって足早に歩いていると、容姿はどう見てもアメリカ人なのに、何故か関西弁を話すJTBの方に会うことができました。彼は私の焦りを吹き飛ばしてしまう程、ユーモアがあり、落ち着いていました。私が予定の飛行機に乗れないことを気にしていると、「飛行機が遅れて、次の飛行機に乗り継げない事なんてアメリカでは日常茶飯事だから、ホストファミリーもわかってくれるよ！まあそんなに気にしないで、肩の力をぬきなよ！」とポンッと背中をたたいてくれました。

初めは、この一時を争う時になんて呑氣なんだろう。と思いましたが、少し考えると、そこがアメリカ人と日本人の考え方の差なのではないかと思いました。

アメリカ人は考え方がBigです。おおらかというか、寛大だという



か、日本だったら、焦りに焦り駆け込んででも予定の飛行機に乗れるように急ぐのではないかでしょうか。私はアメリカに足を踏み入れた直後に、この国は国土や世界的な規模だけでなく人間の心でも大きいのだということを感じました。そんなこんなで私はサンディエゴに着き、やっとの思いでホストファミリーと会うことができました。流石に初日は緊張していて、積極的には殆んど会話できませんでした。しかし、2日目、3日目と、段々と家族にもなじんできて、多くは語れないまでも、積極的に、そして率直に自分の気持ちを相手に伝える事で、心は通じ合えたと思っています。私のホストファミリーは、お父さんもお母さんも小学校の先生だったので、サンディエゴの歴史や、私の知りたかった食生活や食文化の事まで丁寧に教えてくれました。私も、日本の風習や歴史、今、日本で話題になっている事など、できる限り伝えましたが、私が伝えられた事より、私が学びとった事の方が殊の外大きいでしょう。

この夏の出来事は私にとって一生忘れる事がないと思います。それと同時に私の生涯にとって、大きなバネとなることを確信しています。

最後に今回のこの貴重な体験は、私のスポンサークラブである成田平成ライオンズの皆様並びに青少年交換プログラム関係者の方々の支援、暖かいお心遣いあってこそのことだと思っております。

本当に有り難うございました。



# 国際協会のライオネスクラブに対する方針変更に伴う ライオネスクラブの将来像はどうなるか



333-C地区 C A B幹事

L川崎忠男

ガバナー公式訪問全行程に随員として参加いたしました。

いくつかのご質問をいただきました。大綱は次のようなものであります。

- ①ライオンズレートはどのようにしていつ決まるのか  
(ふれあい2号に調査したものを掲載してあります)。
- ②ライオネスクラブの未来像はどうなるか(ふれあい3号に掲載するものです)。
- ③M J Fについて。
- ④ライオンズクラブは上意下達か。
- ⑤ライオンズクラブの行事の中で事故にあった時の保障保険はあるのか。

等々であった。その都度質問されたクラブには調査結果をお知らせすみですが、今回は頭書の件について地区ニュースを通じてお知らせするものであります。

## 国際協会のライオネスクラブに対する方針変更

1991年10月、国際協会はライオネスクラブに関する方針変更を決定、1992年6月以降国際協会は従来行ってきた女性のためのライオネスクラブに対する直接活動を中心一切廃止するというものであった。決定から実施に至る迄8ヶ月の期間はあったもののその間に趣旨説明周知徹底は必ずしも充分とは云えなかつた面もあった。

此の方針の受け手にとっては唐突、動搖、戸惑い、困惑のようすらあったと思う。だからこそ公式訪問のご質問になったのでしょう。国際協会の決定の根拠、経緯、背景を調べてみました。

## ○ラインズに於ける女性の立場

国際婦人年を契機に女性の地位向上は各層にわたって目覚ましく、各国のライオネスからライオンと同等に扱って欲しいとの意見がありました。

アメリカ・オレゴン州では「ライオンズクラブで女性

会員を認めないのは憲法違反だ」と提訴され、国際協会は此の問題で敗退した。

## ○会際会則の変更

1987年7月、第70回台北国際大会において、国際会則第3条「会員資格、成人男子に限る」とあったものが男子の文字が削除される案が可決され、現在の規則となった。従って、ライオネスクラブのメンバーは、ライオンズクラブに組織替えも出来るし、ライオンズに入会の方途も開けた訳である。

又、クラブレベルでライオネスクラブの活動も出来る事になっている。

## ○全日本のライオネスクラブの存続と新クラブ結成

方針変更による国際本部のコントロールから解放された訳だから、この機会に日本的なライオネスの創立を考えるべきであり、又、ライオンズクラブが女性の偉大な能力を引き出し、有効であると判断したとき、新しいライオネスクラブを又、結成すべきであろう。結成については個々のスポンサー、ライオンズクラブは所属地区ガバナーの承認を得るように全日本複合地区議長連絡会議で決められている。

## ローマ字／かな対応表

LCIFへの送金などに関して、ローマ字で記入する場面が多くなります。  
ローマ字とかなの対応については、下のような約束ごとで  
対応していきますので、これを参照してください。

あ い う え お A I U E O	が ぎ ぐ げ ご GA GI GU GE GO	りや りゅ／りゅう りょ／りょう RYA RYU RYO
か き く け こ KA KI KU KE KO	ざ じ ず(づ) ゼ ぞ ZA JI ZU ZE ZO	ぎや ぎゅ／ぎゅう ぎょ／ぎょう GYA GYU GYO
さ し す せ そ SA SHI SU SE SO	だ じ づ(づ) で ど DA JI ZU DE DO	じゃ じゅ／じゅう じょ／じょう JA JU JO
た ち つ て と TA CHI TSU TE TO	ば び ぶ べ ぼ BA BI BU BE BO	
な に ぬ ね の NA NI NU NE NO	きや きゅ／きゅう きょ／きょう KYA KYU KYO	(例) 山田一郎 (正) Ichiro Yamada (誤) Ichrou Yamada
は ひ ふ へ ほ HA HI FU HE HO	しゃ しゅ／しゅう しょ／しょう SHA SHU SHO	土屋五郎 (正) Goro Tsuchiya (誤) Gorou Tuchiya
ま み む め も MA MI MU ME MO	ちゃ ちゅ／ちゅう ちょ／ちょう CHA CHU CHO	島田裕二 (正) Yuji Shimada (誤) Yuuji Simada
や ゆ／ゅう よ YA YU YO	にや にゅ／にゅう にょ／にょう NYA NYU NYO	田中善次 (正) Zenji Tanaka (誤) Zenzi Tanaka
ら り る れ ろ RA RI RU RE RO	ひや ひゅ／ひゅう ひょ／ひょう HYA HYU HYO	
わ ん WA N	みや みゅ／みゅう みょ／みょう MYA MYU MYO	

ライオンズクラブ国際協会  
333-C 地区ライオンズクラブ

ライオンズ国際協会、333-C 地区の会員分布は下のとおりです。

**■1R**

市川、市川東、下総中山、浦安、行徳、  
市川北、浦安シーサイド、浦安中央  
松戸、流山、松戸中央、松戸東、野田、  
松戸ユーカリ、関宿、松戸南  
柏、我孫子、柏中央、柏グリーン、  
印西、柏オーク、柏さくら、柏菜の花

**■2R**

船橋、船橋中央、鎌ヶ谷、沼南、船橋ポート、  
習志野、八千代、船橋東、船橋京葉、船橋北、  
習志野中央、八千代東、白井

**■3R**

千葉、千葉中央、千葉若潮、千葉ポート、  
千葉幕張メッセ、千葉グリーン、市原、  
千葉エコー、市原南、千葉京葉

**■4R**

銚子、佐原、東庄、神崎、大栄、栗源、  
銚子中央、八日市場、旭、総武中央、飯岡、  
多古、千鶴、山田町、光

**■5R**

木更津、木更津中央、袖ヶ浦、木更津金鈴、  
富津、上総、君津、君津中央

**■6R**

館山、鋸南、館山中央、館山北、館山南、  
鴨川、房州白浜、房州朝夷、房総勝浦  
夷隅

**■7R**

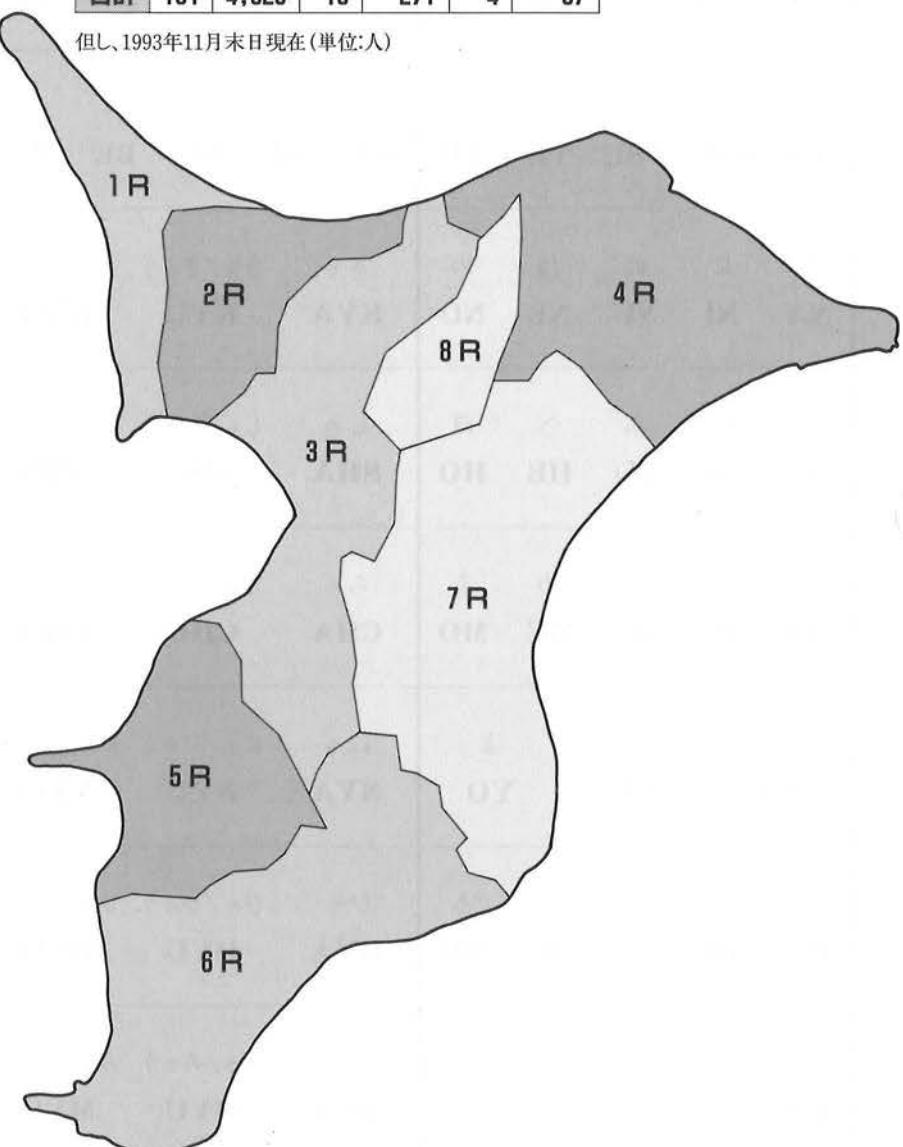
茂原、上総一宮、茂原長生、白子、長南、  
長柄、茂原中央、東金、大網白里、  
九十九里、成東

**■8R**

成田、酒々井、成田グリーン、成田平成、  
富里、下総、佐倉、四街道、八街、  
八街グリーン

	LC		LS		LEO	
1R	24	1,201	2	56	1	17
2R	13	593	1	22		
3R	10	496	2	48		
4R	15	736	1	26	1	14
5R	8	317	5	87	2	26
6R	10	433	2	32		
7R	11	397				
8R	10	447				
合計	101	4,620	13	271	4	57

但し、1993年11月末日現在(単位:人)





►アルファバンク

アルファ積立定期預金  
つむぎ  
**「積立」**

スーパー  
**定期**

期日指定  
**定期**



京葉銀行

# シェラトンウェディング

水と光と緑あふれる  
ベイサイドのリゾートから  
だれよりも幸福なお二人のために。



## 煌 プラン

期間：1994年4月1日～1995年3月31日

(但し10～11月を除く)

60名様 ¥1,880,000

(お一人様追加ごとに¥25,000加算させていただきます)

## サマーウエディング プラン

期間：1994年7月1日～9月30日

50名様 ¥1,420,000

(お一人様追加ごとに¥22,000追加させていただきます)

ご披露宴会場は庭園内「グランパオ」または館内宴会場のいずれかをお選びいただけます。

上記プランのほかウエディングの新しい形、ガーデンウエディングプランをはじめ、  
お二人のご希望にあわせた各種プランを承ります。

\* ライオンズクラブ会員の方のご紹介の場合は、特別割引ご優待がございます。  
お申込の際に、係の者にその旨をお伝えください。

ご予約・お問合せは  
シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル&タワーズ

TEL.(0473)55-5555 宴会予約課(内線2171～5)までどうぞ。



Sheraton Grande  
Tokyo Bay  
HOTEL & TOWERS

シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル&タワーズ